| Doc. No. | 900241-11 |
|---|---|

yamada

# 取 扱 説 明 書

## エアキャリー

## ATC-99S MODEL No.880792

| ⚠ 警告 |
|---|
| 安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。<br>また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。 |

YAMADA CORPORATION

## － はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

## － 使用目的

本機は、軽自動車・普通乗用車のタイヤ空気圧調整用の可搬式エアインフレーターです。タンク内にエアを充填し、本体を車の所まで持ち運んで作業できます。操作も簡単で、誰にでもタイヤの空気圧調整作業が行えます。タンクへのエアの充填は、付属のスタンドにセットしておくだけで自動的に補充されます。設置のための特別な工事も不要です。

## － 警告・注意事項

本機を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

## － 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

### ⚠ 注意

－ 本機はタイヤのエア充填機器ですので、他の用途には絶対に使用しないでください。

－ 本機は測定機器です。乱暴に扱ったり、物をぶつけたりしないでください。衝撃により正しい空気圧の測定が行えなくなる場合があります。

－ 本機を乱暴に扱ったりして破損させることのない様、充分注意して取扱ってください。
タンクを破損させますと、タンク内の圧縮エアの吹き出しや構成部品その他の飛散によって、思わぬケガにつながる等大変危険です。

－ 夜間・休日等、長時間使用しない場合は、スタンド部のエアチャックを取外し、エアの供給を止めておいてください。

－ スタンドに供給するエアは、必ず 500kPa~1000kPa 未満のエアを使用してください。ご使用のコンプレッサーが 1000kPa（または、1MPa）以上の圧力を発生するものの場合には、必ずエアレギュレーターで 1000kPa 未満の圧力に減圧してご使用ください。リリーフ弁が 990kPa にてリリーフするため、エアの消費につながるほか、リリーフする排気音が常時するため故障と間違えることがあります。

★本機は、タイヤ空気圧の補充を目的とした機器ですので、タイヤチェンジした時の“0”圧からの充填は時間がかかりますので、ご了承ください。

# 目次

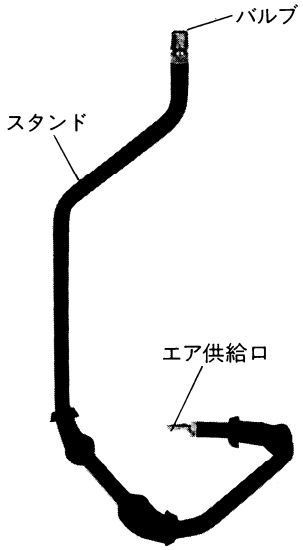

- はじめに
- 使用目的
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次

1. 各部の名称
   - 1.1 各部名称 …… 1
   - 1.2 梱包内容 …… 1
2. 使用前の準備…… 2
3. 使用方法…… 3
4. 保守･点検
   - 4.1 保守…… 4
   - 4.2 故障の点検とその対策…… 4
5. 部品分解図･パーツリスト…… 5
6. 主要諸元
   - 6.1 仕様…… 7
   - 6.2 主要寸法 …… 7
7. 不具合内容 FAX シート…… 8
8. 保証規定 …… 9

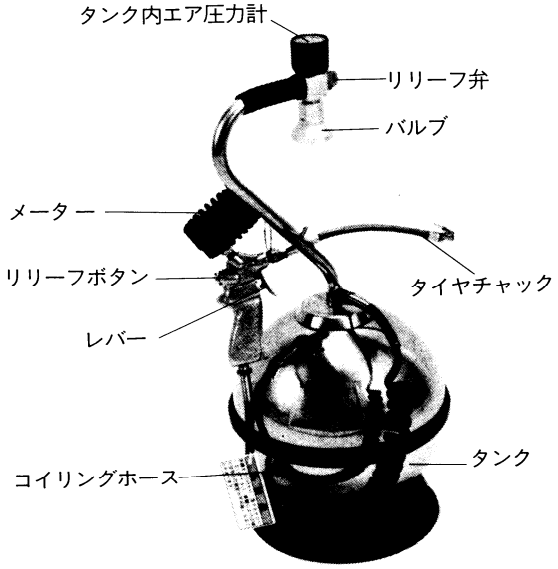
## 1. 各部の名称

### 1.1 各部名称

＜スタンド＞




＜エアキャリー本体＞




### 1.2 梱包内容

本機は、エアキャリー本体とスタンドとが段ボールケースに同時梱包されています。
段ボールケースの上部を開梱し、各部に損傷等がないか確認してください。

## 2. 使用前の準備

1) 開梱後、各部に破損などの異常がないか点検をしてください。
2) スタンドを通常作業の邪魔にならない平坦な場所を選んで設置してください。
3) 500kPa~1000kPa 未満のエアをスタンド部のエア供給口に接続してください。（Fig.1）
（PS タイプのエアチャックを別途購入してください。）

＜NOTE＞
ご使用のコンプレッサーが 1000kPa（または、1MPa）以上の圧力を発生するものの場合には、必ずエアレギュレーターを使用して 1000kPa 未満の圧力で使用してください。リリーフ弁が 990kPa にてリリーフするため、エアの消費につながるほか、リリーフする排気音が常時するため故障と間違えることがあります。（Fig.2）

**⚠ 注意**

- リリーフ弁は安全のために絶対にいじらないでください。リリーフ弁は工場検査時に 990kPa に調圧されて出荷されています。

4) スタンドにエアキャリー本体をセットしてください。（Fig.3）
タンク内にエアが充填され約 1 分程度で満杯になり、エアの充填は自動的に停止します。

＜NOTE＞
・エアキャリー本体上部のタンク内エア圧力計に、タンク内のエア圧が表示されます。（Fig.2）
・供給エア圧力が低い場合には、供給エア圧力以上でタイヤにエアを充気することはできません。

Fig.1

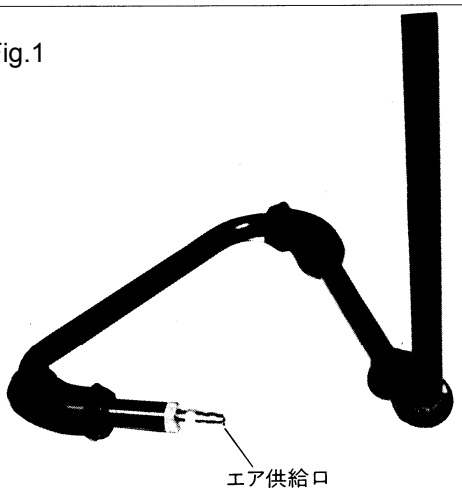
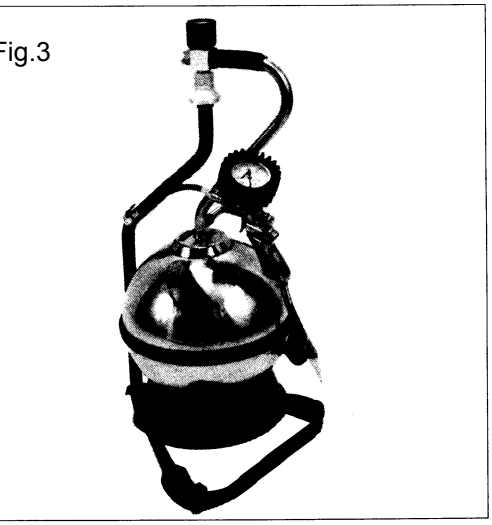



Fig.2

Fig.3



## 3. 使用方法

1) エアキャリー本体をスタンドから取外し、充填する車の所まで持ち運びます。
2) タイヤチャックをタイヤバルブに対してまっすぐ確実に押し当ててください。（Fig.4）この時圧力計の指針は、この時点でのタイヤの空気圧を指示しています。（Fig.5）
3) 圧力計の指針がご希望のタイヤ空気圧と合致していれば、空気圧の調整の必要はありません。
4) 圧力計の指針がご希望のタイヤ圧でない場合には、次の要領にて調整を行ってください。
   ・空気圧が不足の時→ レバーを引いて充気してください
   ・空気圧が過剰の時→ リリーフボタンを押して減圧してください。（Fig.5）
   タイヤの空気圧は、充気中や減圧中（レバーを引いている時、またはリリーフボタンを押している時）には表示されず、レバーまたはリリーフボタンを離した時点で表示されます。
5) タイヤへの充填中、充填速度が遅くなったら、「タンク内エア圧力計」を確認し、タンク内のエア圧が不足しているは、再度スタンドにエアキャリーをセットしてエアを充填してください。

＜NOTE＞
・タンク内の圧力が 990kPa の状態で、約 7 台分（サイズ 155R13）のタイヤ空気圧を、180kPa から 200kPa に調整できます。

6) 使用後はエアキャリー本体を元通りにスタンドにセットし、常に充填の状態にしておいてください。
7) 夜間・休日など長時間使用しない時には、スタンドのエアチャックを外しエアの供給を止めておいてください。

Fig.4

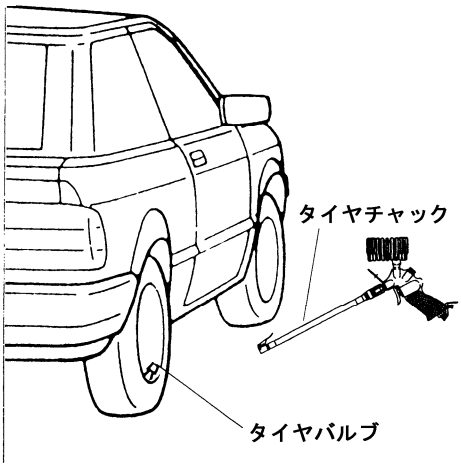



Fig.5

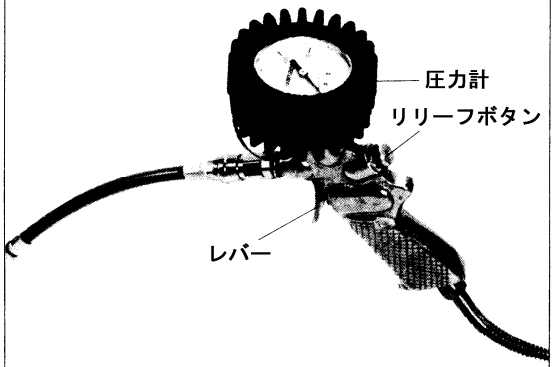
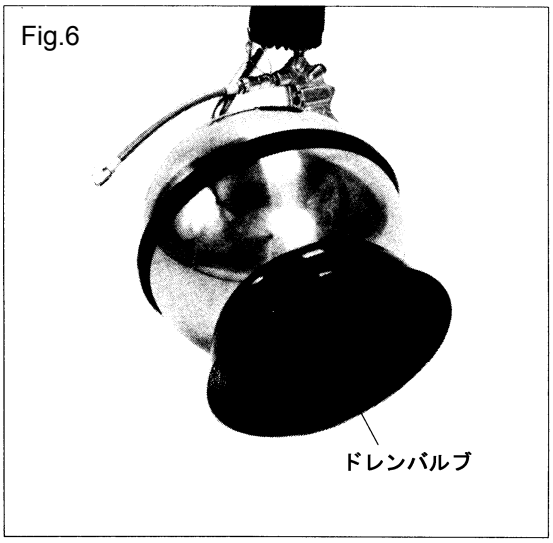



Fig.6



## 4. 保守・点検

### 4.1 保守

★定期的に、ドレンバルブをゆっくり緩め、タンク内に溜まったドレンを抜いてください。
終了後は、必ず確実に締めておいてください。（Fig.6）

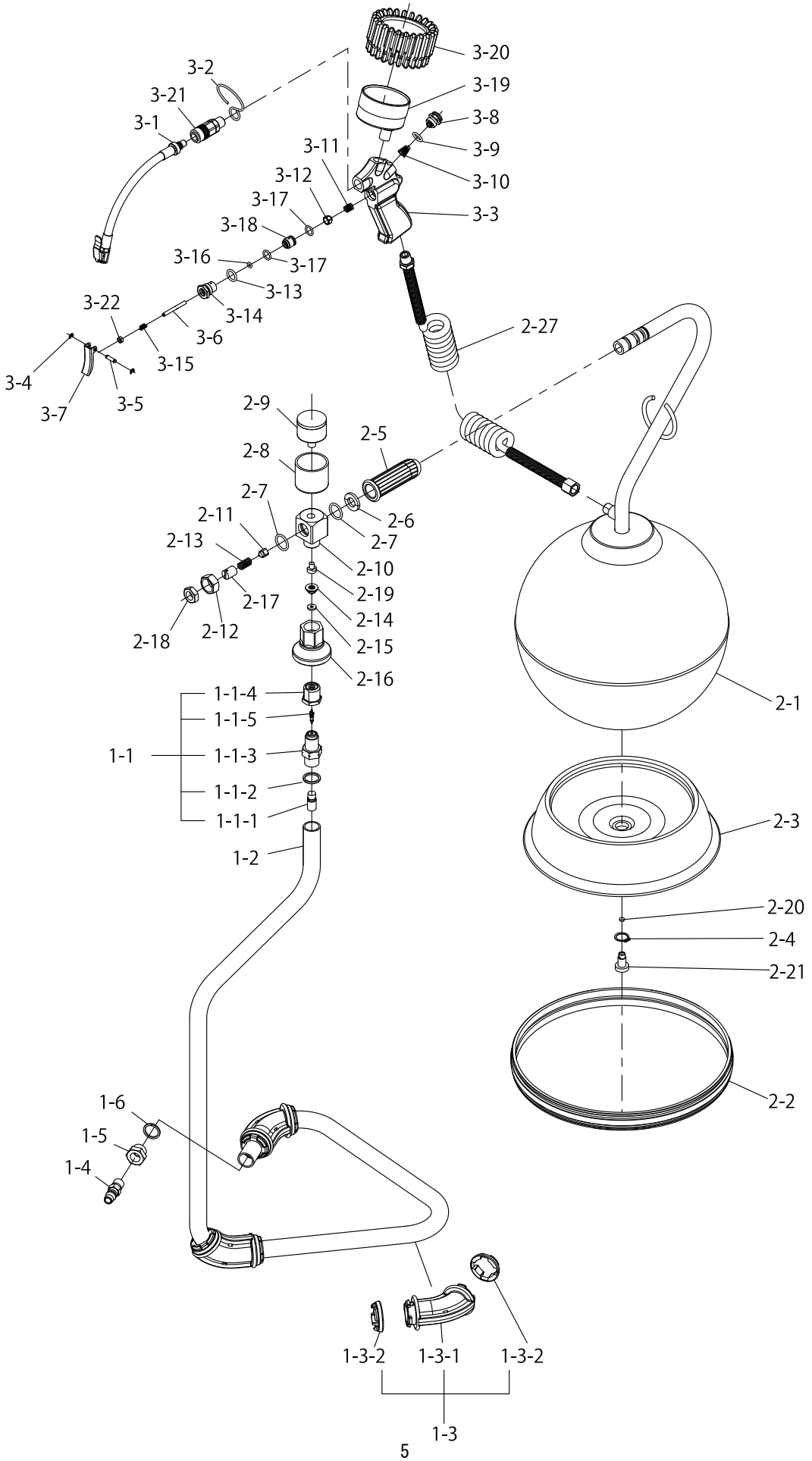
**⚠注意**

- 本機は測定機器ですので、乱暴な取扱いは行わないでください。衝撃により正しい空気圧の測定が行えなくなる場合があります。
- ドレンバルブを緩める際には、よく注意しながらゆっくりと緩め、必要以上に緩めないでください。ドレンやエアが一気に吹き出したり、ドレンバルブが内圧で飛んだりすると、ケガをする恐れがあります。
- 使用中、異常等がございましたらすぐに使用を中止し、「故障の点検とその対策」を参考に点検・整備または、サービスを依頼してください。

### 4.2 故障の点検とその対策

| 状　　況 | 点検方法 | 対　　策 |
|---|---|---|
| タイヤチャックをセットしても針が動かない | ・ホースや接続部の漏れ・外れ<br>・圧力計の故障 | →交換・増締め<br>→修理を依頼 |
| タイヤチャックをセットし、レバーを引いてもタイヤ空気圧が増加しない | ・タンク内のエア不足<br>・バルブの故障 | →スタンドにセットし、補充<br>→修理を依頼 |
| タイヤチャックをセットし、リリーフボタンを押してもタイヤ空気圧が減少しない | ・バルブの故障 | →修理を依頼 |
| タンク内にエアがたまらない | ・タンクのドレンバルブ緩み<br>・スタンドのバルブ故障 | →点検<br>→修理を依頼 |
| スタンドと本体の接続部からエアが漏れる | ・バルブ内部品の摩耗<br>・スタンドが著しく傾いている | →修理を依頼<br>→平らに調整 |

## 5. 部品分解図・パーツリスト（880792 ATC-99S）



853744 スタンド組立

| No. | 部品番号 | 部品名称 | 員数 |
|---|---|---|---|
| 1-1 | 801805 | 供給バルブ組立 | 1 |
| 1-1-1 | 681170 | サイレンサー | 1 |
| 1-1-2 | 708584 | 座金 | 1 |
| 1-1-3 | 716729 | ホルダー | 1 |
| 1-1-4 | 708600 | キャップ | 1 |
| 1-1-5 | 686599 | バルブコア | 1 |
| 1-2 | 714879 | スタンド | 1 |
| 1-3 | 802970 | 足組立 | 3 |
| 1-3-1 | 771690 | 足 | 1 |
| 1-3-2 | 771691 | 足止め輪 | 2 |
| 1-4 | 680743 | 口金 | 1 |
| 1-5 | 711897 | ブッシュ | 1 |
| 1-6 | 708584 | 座金 | 1 |

853431 本体組立

| No. | 部品番号 | 部品名称 | 員数 |
|---|---|---|---|
| 2-1 | 832344 | タンク組立 | 1 |
| 2-2 | 772633 | ガード | 1 |
| 2-3 | 772212 | 受け座 | 1 |
| 2-4 | 630691 | C型止め輪 | 1 |
| 2-5 | 771278 | 握り | 1 |
| 2-6 | 710060 | スペーサー | 2 |
| 2-7 | 640016 | Oリング | 2 |
| 2-8 | 771948 | ガード | 1 |
| 2-9 | 684031 | 圧力計 | 1 |
| 2-10 | 712849 | ジョイント | 1 |
| 2-11 | 795057 | バルブ | 1 |
| 2-12 | 708581 | ナット | 1 |
| 2-13 | 708615 | スプリング | 1 |
| 2-14 | 708616 | バルブシート | 1 |
| 2-15 | 770942 | パッキン | 1 |
| 2-16 | 708617 | ガイド | 1 |
| 2-17 | 708586 | 調整ボルト | 1 |
| 2-18 | 627327 | ナット | 1 |
| 2-19 | 770941 | バルブ | 1 |
| 2-20 | 770946 | パッキン | 1 |
| 2-21 | 708592 | ドレンバルブ | 1 |
| 2-27 | 695397 | コイルチューブ | 1 |

852806 ガン組立

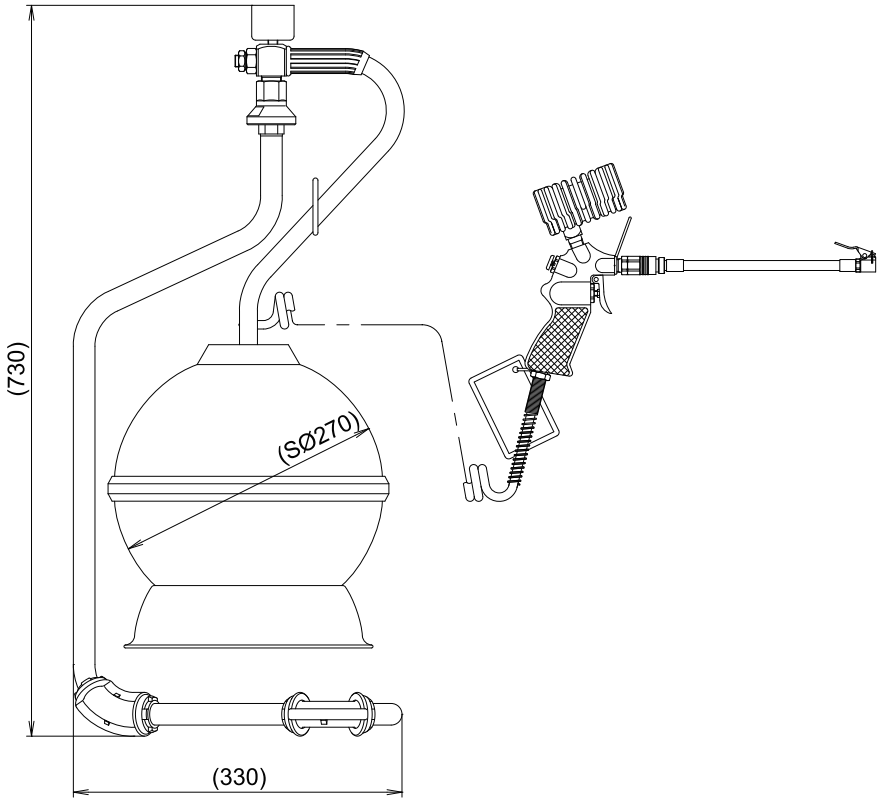
| No. | 部品番号 | 部品名称 | 員数 |
|---|---|---|---|
| 3-1 | 695849 | タイヤチャック組立 | 1 |
| 3-2 | 713104 | 掛金 | 1 |
| 3-3 | 832172 | ガン組立 | 1 |
| 3-4 | 630775 | E型止め輪 | 2 |
| 3-5 | 710056 | ピン | 1 |
| 3-6 | 712978 | 軸 | 1 |
| 3-7 | 713093 | レバー | 1 |
| 3-8 | 831377 | バルブ組立 | 1 |
| 3-9 | 640009 | Oリング | 1 |
| 3-10 | 710045 | テーパースプリング | 1 |
| 3-11 | 712982 | スプリング | 1 |
| 3-12 | 795095 | バルブ | 1 |
| 3-13 | 640011 | Oリング | 1 |
| 3-14 | 832128 | バルブガイド組立 | 1 |
| 3-15 | 714945 | スプリング | 1 |
| 3-16 | 640001 | Oリング | 1 |
| 3-17 | 640007 | Oリング | 2 |
| 3-18 | 712981 | バルブシート | 1 |
| 3-19 | 684242 | 圧力計 | 1 |
| 3-20 | 772024 | 圧力計カバー | 1 |
| 3-21 | 684218 | カプラー(ソケット) | 1 |
| 3-22 | 627007 | ナット | 1 |

## 6. 主要諸元

### 6.1 仕様

| 製品番号 | 型　　式 | 外観寸法 | ゲージ目盛 | タンク容量 | 質　　量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 880792 | ATC-99S | 全高：730mm<br>全幅：330mm | 0~540kPa<br>最小20kPa | 9.9L<br>（ステンレス仕様） | 本　　体：4.3kg<br>スタンド：2.0kg |

### 6.2 主要寸法



## 7. 不具合内容 FAX シート

不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

| 不具合内容 FAX シート | |
|---|---|
| フリガナ<br><br>貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | フリガナ<br><br>ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |
| フリガナ<br><br>ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br><br>＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | <br><br>ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br>ご連絡先<br>Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿<br>Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ |
| 製品名 | 型式 |
| 使用期間<br>20　　年　　月 ～　　年　　月 | SERIAL No.<br>（LOT No.） |
| 運転頻度　□連続<br>□断続　　hr／日･週･月 | 購入年月日<br>購入販売店 |
| 機器の状態（不具合の内容） | |

## 8. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

**1.保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

**2.保証内容**：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

**3.適用除外**：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類　　・各種パッキン類　　・コード類

**4.補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

**MEMO.**

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。


## 株式会社ヤマダコーポレーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本社・営業部 | 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL (03) 3777-4101 (代) | FAX (03) 3777-3328 |
| 札幌営業所 | 〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号 | TEL (011) 821-0630 (代) | FAX (011) 821-0949 |
| 仙台営業所 | 〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号 | TEL (022) 343-9410 (代) | FAX (022) 343-9411 |
| 東京営業所 | 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL (03) 3777-3171 (代) | FAX (03) 3777-6770 |
| 名古屋営業所 | 〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号 | TEL (052) 795-0222 (代) | FAX (052) 795-0444 |
| 大阪営業所 | 〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号 | TEL (06) 6971-5301 (代) | FAX (06) 6974-0497 |
| 広島営業所 | 〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号 | TEL (082) 275-5852 (代) | FAX (082) 275-5853 |
| 福岡営業所 | 〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号 | TEL (092) 581-5477 (代) | FAX (092) 581-6524 |

| | | |
|---|---|---|
| YAMADA AMERICA Inc. | 955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA | TEL 1-847-631-9200 |
| YAMADA EUROPE B.V | Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands | TEL 31-0-74-242-2032 |
| 雅玛达(上海)泵业贸易有限公司 | 上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门 | TEL 86-21-3895-3699 |


201308 900241